

ななお 市議会だより

No.20 平成21年第3回(9月)定例会●発行/平成21年11月5日●七尾市議会事務局●編集/議会だより編集委員会

任期最後の定例会が開催される



平成21年第3回市議会定例会の概要

9月3日(木) 本会議

平成21年第3回定例会が招集され、会期を15日間と決めました。平成21年度一般会計補正予算として3億6,524万8千円及び3つの特別会計の他、補正予算案と条例案を含め議案17件、法人の経営状況の報告9件が上程され、提案理由説明が行われました。

9月9日(水) 本会議

9月10日(木) 本会議

9月11日(金) 本会議

3日間にわたり、代表質問及び一般質問に15名の議員が質問に立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な論議が交わされました。

9月15日(火) 常任委員会

3つの常任委員会において、付託された議案について委員会審査が行われました。

9月17日(木) 本会議

各常任委員長及び決算審査特別委員長から委員会における審査の経過と結果が報告され、採決を行った結果、議案については全て可決、請願1件が不採択、継続請願3件が引き続き継続審査となりました。その後、委員会条例の一部改正に関する議会議案1件と意見書に関する議会議案3件が提出され、全てが可決された後、市議会定例会を閉会しました。

集落支援員配置と過疎・高齢化集落の維持・再生に向けた取り組み

●荒川一義議員

Q

集落支援員の配置についてどのような考えか。また、過疎・高齢化集落の維持・再生に向けてどのように取り組もうとしているのか、その見解を伺います。

●市長

A

集落支援員の配置については、将来の集落維持・振興のためにも大変大事な制度であり、国の補助を受けながら取り組んでいきたいと思っています。また、過疎・高齢化が進む集落については、環境の維持、交通弱者と言われるお年寄りの公共交通の確保、情報、通信基盤を整備し、地域全体で見守りをする、あるいは場合によっては複数の集落が共同して、お互いに勉強をしながら集落を維持し、外部からの人材を受け入れていくという取り組みも仕掛けていかなければならないと思っています。

その他の質問項目

- 政権交代に伴う七尾市の影響と方向性
- 七尾市の景気・経済情勢や雇用失業情勢と今後の対策
- 新型インフルエンザ本格流行に伴う七尾市の対応策
- 七尾市における耕作放棄地問題の解消策
- 七尾市における耕作放棄地問題の解消策
- 行方不明者の連携検索ネット整備の強化と体制づくり
- 都市計画区域と都市計画税

経済対策事業における進捗状況

●大林吉正議員

Q

地元漁業者は県外の大型まき網船を誘致、水揚げさせることに大きな疑問と不安を持っているようです。値崩れの問題、販売ルート、魚の血抜きの問題、海水汚染の問題などたくさん協議することがあると思われます。漁業者と市、市場仲買人ら関係者で協議する場をつくったかどうかと思いますが、いかがか伺います。

●市長

A

「いきいき七尾魚」として売り出している魚の評価、あるいは値段が下がるのではないかという心配もありますが、「いきいき七尾魚」とまき網でとれた魚とは別の扱いをして別のところへ販売するという形です。みわけができています。いずれにしても地元の漁業振興にマイナスになることのないように、そして、七尾魚がこれまで以上に評価を上げるような対策をしていかなければならないので、今後の水産振興をどうすればいいかということの調査事業を行います。当然、水産関係の漁協さんや漁師の皆さん方との協議の場は必要ですし、これまでも市内のこういった方々と市場や行政を含めて協議をしているところです。こういった協議はこれからも積極的に進めていきたいと思っています。

七尾市のこれからの目指す方向性

●高僧弘議員

Q

これから目指す方向性、経営方針など、どう進めていくのか伺います。

●市長

A

昨年12月議会で議決をいただいた、今後10年間の七尾市の基本方針である第一次七尾市総合計画に従って、七尾市の将来像として「七尾湾と温泉を活かした能登から世界への架け橋、人が輝く交流体感都市」を目指して、今取り組んでいるところです。「市民が主役のまち」、「活気あふれる元気なまち」、「文化の薫る美しいまち」、「安全で住みよいまち」、この4つをまちづくりの基本方針として、これからも全力で取り組んでいきたいと思っています。市民が元気にならなければ七尾市の元気が出てこないわけですから、すべての市民が一人一人が輝く市民となって、一人一人の持つ能力や力を最大限に発揮できるようなまちになれば、間違いなくこの総合計画の将来像である市民が輝く、また多くの人たちが七尾へ集うようなまちになると思っています。

その他の質問項目

- 食農教育の取り組み
- 健康づくり



全市公園化構想

●石川邦彦議員

Q

全市公園化構想の一環として、七尾西湾の湾岸道路沿いに市民総参加で一人一本を目標し桜を植えて万本桜の名所にしようではありませんか。市長の考えを伺います。

●市長

A

湾岸道路沿線についてはどういった形がいいのか、桜をはじめ、どのような樹木がいいのかということも皆さんと議論し、桜以外の木も含めて湾岸道路の公園化構想をつくり、市民の皆さん方に参加していただいて、まさに市民ぐるみで西湾道路、湾岸道路の公園化構想を全市民的に進めていければ、すばらしいことになると思います。実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。



七尾港の振興策

●池岡一彦議員

Q

水産加工団地の造成は道路や港湾からの距離などに加えて、企業誘致の大きなセールスポイントになると思われ、七尾市にとっても加工企業を一カ所に集めることにより、廃棄物やにおいといった各種問題の回避、交通渋滞回避、道路整備などメリットにもつながると思われませんが、水産加工団地の造成に対する市長の考えを伺います。

●市長

A

地元で水揚げされた水産物や地元で生産された農産物などの一次産品を加工する企業を誘致していきたいと考えています。そのための団地造成もしていかなければならないわけですが、昨年、市内の工場適地可能性調査をしました。その中の適地候補地として、大田地区も出ていますので、そのようなところを加工団地として造成すればどうかと思っています。いずれにしても、企業を誘致することと同時に進めなければなりませんので、こういった方向で進めていきたいと思えます。

その他の質問項目

- 能越自動車道
- 限界集落

ケーブルテレビ事業

●木下敬太議員

Q

今の加入率で七尾市の財政への影響はどのようになるのか伺います。

●企画政策部長

A

平成21年度のケーブルテレビ事業の当初予算については、歳出予算が4億2,374万6,000円で歳入は2億6,743万6,000円です。この歳入と歳出の差額1億5,631万円は一般会計からの繰り入れをしています。しかしながら、本年度末の加入見込みの400件増を目指し、この加入増による利用料及び加入負担金で600万円の増額を見込み、また歳出で委託料などの歳出を見直し、400万円の減額を見込んでいます。この結果、今年度末のケーブルテレビ事業特別会計については1,000万円改善される見込みで、一般会計からの繰入金金は、現時点で1億4,631万円を見込んでいます。今後も加入率の向上を図るとともに、経費の削減に努め、収支の改善を図っていききたいと考えています。

その他の質問項目

- 現行の七尾市発注入札制度
- ふるさとケータイ創出推進事業
- 新政権に都市の意見反映を

農業政策

●杉木勉議員

Q

耕作放棄地を解消するために、水田の圃場整備を促進し、また地元負担率を下げることは出来ないかを伺います。

●市長

A

耕作が不利あるいは困難な地域の圃場整備こそ、耕作放棄地を解消することにつながり、今、我々も全力で取り組んでいます。なかなか進まないのが現状です。問題は高齢化が進む中で圃場整備しても耕作する者がいない田んぼではという心配もあり、圃場整備をすると同時にそれを引き受ける担い手や組織を育てていかなければいけません。国も圃場整備の事業補助と同時に担い手や地域ぐるみで取り組む集落営農、法人化を進めていくものをセットで取り組んでいます。この補助金を使えば、実質的には地元負担金が5%以下にもなる仕掛けがあるので、そういったものを含めて総合的に取り組んでいかなければならず、そういう意味で、市負担率を今の5%から10%にしても、必ずしも圃場整備が進むことにはならないと思っています。しかし、県からも市町村の標準的な負担割合を市町村が負担するようにという通達も来ているので、そういったことも含め総合的に地元負担の軽減を図る方向で検討していきたいと思っています。

1クラス30人以下学級の実現

●古田秀雄議員

Q

すぐれた教育を進めるために、すべてのクラスを35人以下または30人以下の学級にすべきと考えますがいかがか伺います。

●教育長

A

現在小学校1、2年生、中学校1年生でクラス35人を実施しています。それで85%のクラスがもう35人以下、もっといえば20人台、極端にいうと1クラスにたった児童1人、先生1人という学級も現在七尾市内に生まれています。だから、もう35人とかそういうのはとっくに超えて、今は複式の学級がだんだん増えてきている現状です。

その他の質問項目

- 一般会計補正予算のうち国の「経済危機対策」関連事業
- 「七尾市歌」の制定
- 矢田郷公民館の建設
- 耕作放棄地利活用事業
- 新型インフルエンザ対策



除雪対策

●松本精一議員

Q

ことし1月のゲリラ大雪の主な反省としてどんな点について認識をしているのか伺います。

●建設部長

A

反省点として除雪対策本部として、指揮命令系統の不備による初動体制の遅れがありました。除雪作業の状況の把握、除雪計画において優先路線の協議、道路管理者における除雪作業の調整の不足といったものが挙げられると思います。また、除雪作業をお願いしている業者において、業者の減少と機械オペレーターの不足、一部オペレーターの機械操作不慣れと大変多い積雪が重なったこと、それと道路状況の把握不足といったものが挙げられると思います。その他、倒木被害がたくさんあったことにより除雪車が通れなくなったとか、あるいは初動体制の遅れにより一般車両が渋滞したことによって、遅れに拍車がかかったということが挙げられると思います。

その他の質問項目

- 新七尾市におけるシンボルの制定
- 税金等未納対策
- 空き施設の活用策

港湾工事に係る問題点

●杉本志一 議員

Q

陸上工事から港湾工事に参入を望む業者は、用船契約やその他の機材の貸し出し契約の条項を付する事業枠の拡大と海上工事経験の必要条項の緩和を望んでいるがいかがが。また、これらの点を付して発注する工事とその他の工事との違いの判断内容についても伺います。

●総務部長

A

海上一式工事には用船やその他機材が必要ですが、用船契約やその他の機材の貸し出し契約の有無については、一般競争入札の参加要件には付していません。ただし、事業者の工事実績については、本年度発注の一般競争入札によるすべての工事の要件としています。また、海の上での不安定な工事であり、その特殊性や難易度から工事完成の確実な担保に加えて、作業に当たる作業員の安全確保が極めて重要であるため今後とも工事実績は一般競争入札の参加要件としていきたいと考えています。

その他の質問項目

- 先の指名選考、発注工事の件
- 能登空港利用促進の当市の取り組み姿勢
- 人事の件についての問題点
- 進出表明のあった企業の件

駅南地区の整備

●佐藤喜典 議員

Q

先般、平成17年3月17日付の新聞を目にしました。JR七尾駅南地区で検討している都市計画に伴い、新年度から周辺道路網の整備について検討に入るといった内容でしたが、この検討はその後どのようなようになったのかを伺います。

●市長

A

駅南と市街地を結ぶ連絡通路や線路をまたぐという要望が以前からあり、平成17年に駅南広場整備構想調査という形で中心市街地と駅南をつなぐことについての調査を行いました。この駅南側には旧の機関区跡があり、現在、JRが電車の停泊や補修基地として使用しています。この用地を取得しなければ、自由通路や駅の整備をすることができないわけですが、この取得に際して多額の用地費、補償費を必要とするため、今のところ事業を計画することは非常に難しい状況です。そういう意味で、補償費並びに土地の取得費などが課題となっており、駅南口の整備は具体的に進んでいない状況です。

その他の質問項目

- 保育行政
- メンタルヘルス対策
- 矢田郷公民館建設

国民健康保険における一部負担金免除制度及び短期保険証

●磯貝和典 議員

Q

国民健康保険を運営する自治体は、窓口での支払いが困難な加入者に対して患者負担を減免できることが国民健康保険法第44条で決まっていますが、七尾市では減免制度がありません。早急にこの制度を実施すべきですが、考えを伺います。

●市長

A

七尾市もこの制度を設けるべく、年内実施をめどに今準備を進めているところです。



その他の質問項目

- 75歳以上の方の医療費無料制度
- 子育て支援制度
- 就学援助制度
- 農地の耕作放棄
- 市内循環バス路線
- 災害復旧
- 広報ななお

学校給食における地場産物の活用及び米(米粉)利用の推進

●久吉彦彦議員

Q 今後、どのように地場産物を学校給食に積極的に活用していくのか。また、学校給食への米粉利用の促進についても伺います。

●教育部長

A 学校給食における地場産物の積極的な使用については、地場産物の持つさまざまな意義を踏まえ、生産者、流通関係者、それから行政関係者との連携を図り検討していきたいと考えています。また米粉については米粉のよさが指摘され、現在県の学校給食会による試験的な利用を行っているところですが、しかし、小麦粉が1キログラムあたり現在180円に対し、米粉は約700円ぐらいかかると聞いており、割高の状況です。今後給食費の引き上げを招かないような形で利用方法や導入の効果などを検討していきたいと思っています。

その他の質問項目

○入札の見直し



国交省の認定を受けた能登半島観光圏

●岡部俊行議員

Q それぞれの地域が持っているさまざまな魅力、産業、文化などをどのように発信していくのか伺います。

●産業部長

A 従来の観光情報に加え、体験メニューや旅行商品などを関係機関と連携して観光客のニーズに対応できる着地型観光情報の強化を図って積極的に発信していきたいと考えています。また、それぞれの市町の観光情報だけではなく、能登地域4市5町のタイムリーな観光情報を既存の市町の観光施設へ提供することに加え、今年度には観光圏整備事業として新たに認定観光圏案内所を設けて、観光情報の提供に努めていきたいと思っています。

その他の質問項目

○市税等・公共料金のクレジットカード収納



「農地法等改正法」の成立

●伊藤厚子議員

Q 農地の集積を進める新たな農地利用集積円滑化団体、「コーディネーター」の配置、また就農の動機づけのための市民農業塾などの体制づくりなどに取り組む考えはないか伺います。

●市長

A 農地の集積化を進める組織として担い手育成総合支援協議会をつくり、耕作できない人と耕作意欲のある人をつなぐ仕事をしています。同時に、耕作放棄地の再生事業や担い手を育成する就農支援センターも設置していきたいと考えています。この支援センターができれば、農業を志す人の意向に合わせた農業体験、農業研修を実施し、こういった方々に対して、住居や農業指導をする仕組み、また地域における専業農家や担い手農家とか農業法人の方々との交流会も予定しているところです。

その他の質問項目

- 建設業と地域の元気回復助成事業
- 「生活費付職業訓練」の周知と取り組み
- 交通空白地へのデマンド交通方式の実施
- 矢田郷公民館建設の予定

金泉市市昇格60周年記念行事

【金泉市】

位 置：韓国ほぼ中央
人 口：約14万人
面 積：1,009.56km²
特産品：ぶどう(韓国国内の30%)
観光地：直指寺、横岳山

◇訪問目的

● 姉妹都市金泉市市昇格60周年記念行事に金泉市市長から招請を受け、市長・議長並びに市民代表者による訪問団総勢14名で、祝賀行事に参加するとともに、更なる友好関係を構築することを目的に8月14日から17日の日程で姉妹都市金泉市を訪問しました。

なお議会からは、仙田忍議長、田浦勇古議員、古田秀雄議員の3名が参加しました。

◇姉妹提携

● 1975年10月16日(昭和50年)に七尾市、金泉市の両市ロータリークラブ間、御祓公民館と金泉文化院の姉妹提携を機に行政の姉妹提携の機運が高まり調印となりました。その後、現在までの34年間の間に交流回数は95回、延べ1,357名の市民が交流を深めてきました。

■金泉市制60周年記念式典に参加して

出発当日、午前8時、市役所前で不嶋副市長の激励の言葉を受け、バスで小松空港に向かいました。小松空港から2時間の飛行で韓国仁川空港に着き、大型バスに乗りかえ、午後7時ようやく金泉市パークホテルに到着しました。ホテルの玄関口には、パク・ポーセン金泉市長、ソン・ヨンベイ副市長、パク・イルジョン議会議長、ソ・ジョンヒ副議長他市役所の各局長が迎えてくれました。早速金泉市主催の晩餐会となりました。金泉市長、同議長から歓迎の挨拶があり、武元市長、仙田議長が答礼の言葉を述べ、全員で乾杯して開宴となりました。参加者にはこれまでも両市の間で相互に訪問しており旧知の仲の人もいて、お互いの名刺交換や通訳の人を交えて積もる話に花が咲き、そこでここで再会を喜び合って乾杯が繰返されました。

翌日は、訪問の目的である金泉市市制昇格60周年記念式典に参加しました。式典会場の金泉文化芸術会館前庭では、独特な衣装で鉦や太鼓を打ち鳴らし、韓国民謡を歌いながら輪になって踊っていました。広い階段を上がって会場に入ると、すでに市民で会場はあふれていました。記念式典は映像による金泉市の歴史で幕が開けました。市制発足当時のひなびた農村風景が年を追うごとに近代化していく様子が語られ、更に未来に向けて若人に受け継がれていく場面で幕となりました。その後、先ず金泉市長が舞台上に上り、60周年記念式典を開催するにあたっての主催者挨拶がありました。続いて姉妹都市や友好都市の市長、議長から祝い

の言葉が述べられました。発展する金泉市をたたえ、今後未永く友好親善を深めていく旨の祝詞が次々と述べられました。式典といわれるものはこまで、後は市民による郷土民謡や伝統芸能などが披露されました。式典のフィナーレは市民総立ちとなり、舞台上の金泉児童合唱団と来賓、そして会場が一体となって金泉市歌を斉唱して幕を閉じました。



■金泉市でのすべての行事を終えて

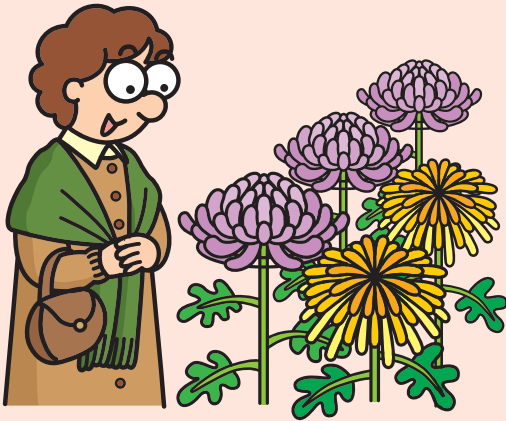
● 言語や習慣、そして考え方の違う国の市と市が友好という共通の目標を持って歩むためには、両市及び市民同士の理解と協調がなければ成し遂げられませんし、今回の式典に参加した意義もそこにあると思います。また、躍進する金泉市と七尾市の更なる友好を深めた訪問でした。

◎今議会において、審議された請願の結果は下記のとおりです。

請願番号	請願名	請願者	結果
請願第3号	七尾市立中学校の再編整備案に対する請願書	七尾市立涛南中学校PTA 会長 池岡 直樹	不採択
継続請願第1号	地籍調査の促進について	(社)石川県宅地建物取引業協会 会長 間蔵 信行	継続審査
継続請願第2号	国に「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願書	新日本婦人の会七尾支部 支部長 西井 米子	継続審査
継続請願第7号	「消費税増税に反対する意見書」の採択を求める請願書	能登民主商工会 会長 松井 昇	継続審査
平成20年 継続請願第2号	伊勢養鶏の(仮称)北陸新農場計画に反対する請願書	鹿島台町 会長 山田 敏男	継続審査

◎下記の意見書が議会議案として提案されました。可決された意見書は、政府各関係機関へ提出しました。

議案番号	意見書名	採決結果
議会議案第10号	安心社会実現のため22年度予算の確保を求める意見書	可決
議会議案第11号	地方分権改革推進計画策定と新分権一括法制定を求める意見書	可決
議会議案第12号	大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書	可決



お知らせ

なお市議会だよりへの、市民の皆さんの率直なご意見・ご感想をお寄せください。

なお、議会の会議録については、市内各図書館及び能登島生涯学習総合センターに備えてあるほか、市のホームページでも閲覧できるようになっていますので、ご覧ください。

TEL(0767)53-8433
<http://www.city.nanao.lg.jp>

市のホームページからメール送信することもできます。

【議会の動き】

8月

- 3日 能登総合開発促進協議会・七尾線強化促進同盟会総会
- 6日 日本海六県港湾都市議会協議会総会(～7日)
(新潟県上越市)
- 7日 第119回石川県市議会議長会定期総会(珠州市)
- 14日 金泉市市昇格60周年記念祝賀会訪問(～17日)
(韓国金泉市)
- 18日 会派代表者会議
第3回市議会臨時会
- 24日 決算審査特別委員会
- 26日 決算審査特別委員会
- 28日 決算審査特別委員会
- 31日 議会運営委員会

9月

- 3日 第3回市議会定例会開会(～17日)
- 29日 石川県後期高齢者医療広域連合議会(金沢市)

10月

- 18日 市議会議員選挙
- 21日 全国市議会議長会研究フォーラム(金沢市)
- 29日 北信越市議会議長会評議員会(～30日)
(福井県福井市)